

あるく・つながる・みどりのみち ～鉄道敷地の緑道整備～

京王線の地下化に伴い創出された鉄道敷地について、段階的に整備を進めています



緑道の整備イメージ

調布市



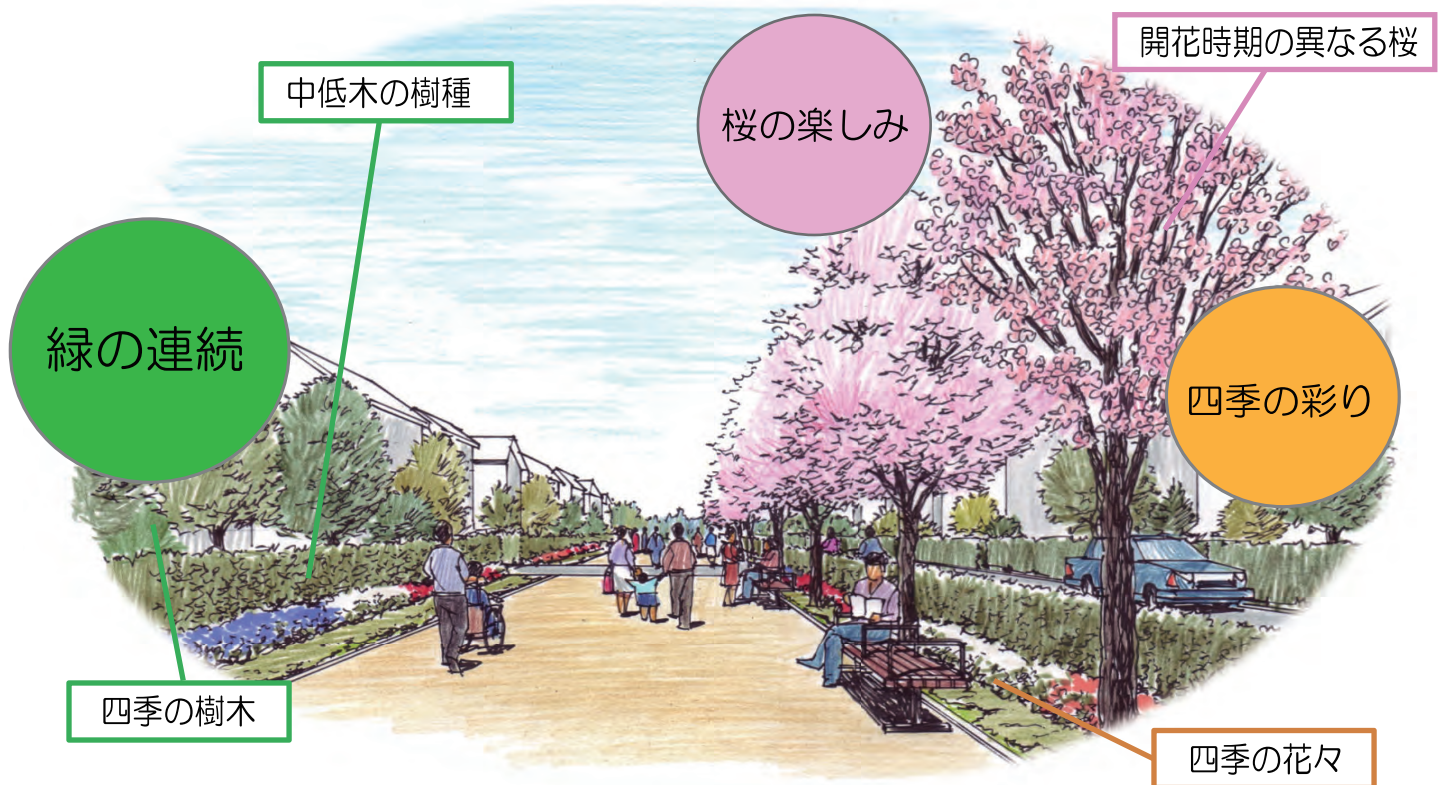
■鉄道敷地とは

鉄道敷地とは、京王線連続立体交差事業によって創出された、調布・布田・国領3駅の駅前広場と各駅をつなぐ線路跡地のことを示します。市は、貴重な都市空間である鉄道敷地を有効に活用し、にぎわいや交流、うるおい、やすらぎのある都市空間として整備に取り組んでいます。

平成11年度に中心市街地街づくり総合計画を策定したのち、各段階で市民参加を実践しながら検討を進め、平成27年度に「鉄道敷地整備計画」を策定し、全体整備テーマを決定しました。

■全体整備テーマ

桜を全体に配置した四季感豊かな緑道空間



■これまでの市民参加

これまで様々な市民参加を実践しながら、鉄道敷地整備についての検討を進めて参りました。

平成17年3月	鉄道敷地利用に向けての提言書の提出(鉄道敷地利用検討会)
平成18年7月～8月	鉄道敷地利用に関するアンケートの実施
平成18年7月～平成19年1月	鉄道敷地利用に向けての地元勉強会の実施
平成21年7月	中心市街地デザイン・コンセプトの策定
平成28年3月	鉄道敷地整備計画の策定
平成29年7月	鉄道敷地の整備に関する説明会の開催
令和2年12月	鉄道敷地整備に関するオープンハウス開催

区間A （鶴川街道～調布西第2路上自転車等駐車場）

- 基本方針
- ・鬼太郎ひろばとのつながりを持たせた緑道とする。
 - ・歩行空間は緩やかな曲線とし、歩きながらゆっくり楽しめる空間とする。
 - ・フットライトを設置するなど、夜間でも歩いて楽しい空間を演出する。

■近隣施設



鬼太郎ひろば ©水木プロ

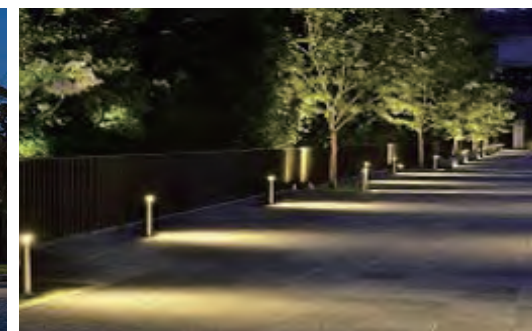
■整備イメージ



歩行空間の整備イメージ



照明のイメージ



照明のイメージ



区間B （調布東第2路上自転車等駐車場～布田南通り）

- 基本方針
- ・人が集い、地域交流が生まれるよう、緑道脇の開けた空間を活用し、オープンスペースを確保する。
 - ・オープンスペースは、地域での活用等ができる空間とするため、主に樹木とベンチを設置し活用の幅を広げる。
 - ・オープンスペースは、日常的に人が集まれる空間とするため、ベンチをコの字型に配置する。

■整備イメージ



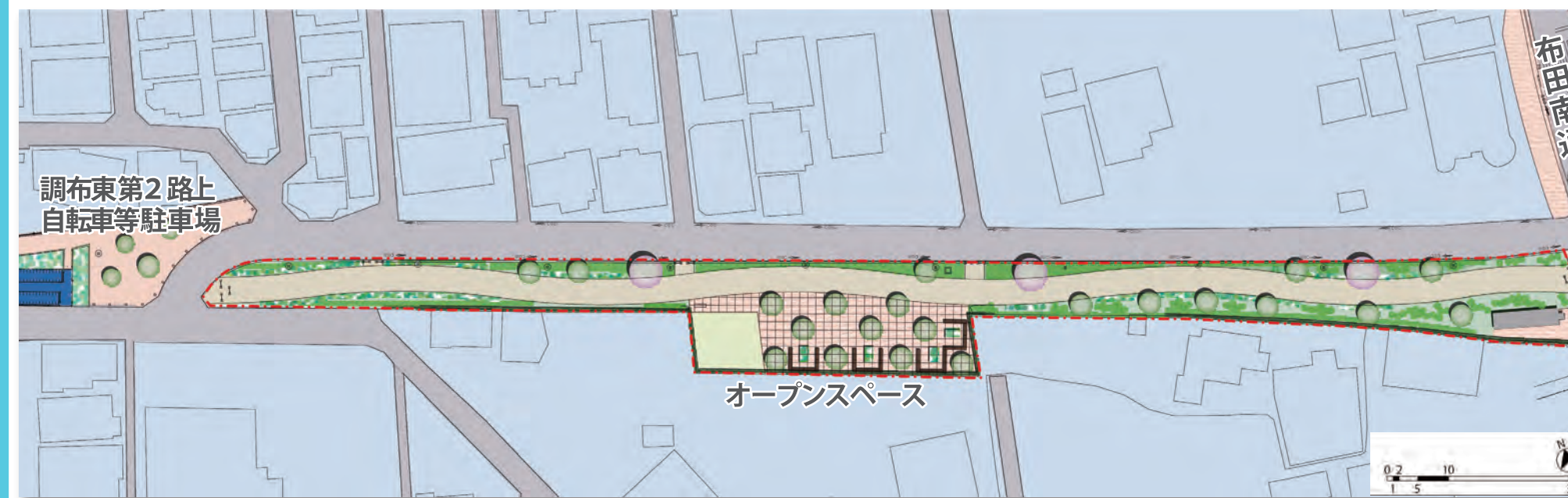
オープンスペースのイメージ



オープンスペースを活用した地域の情報発信のイメージ



ベンチのイメージ



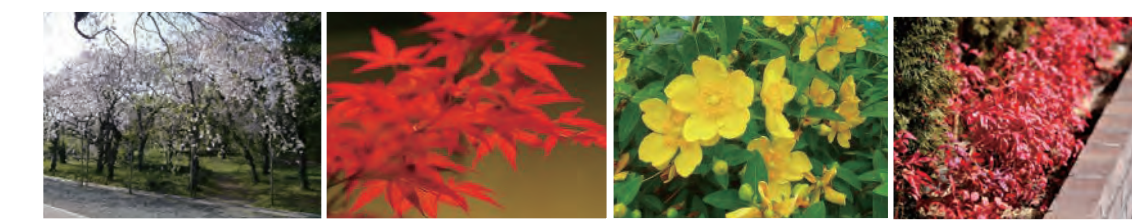
■植栽基本方針

- ①桜を緑道全体の骨格となる樹種とし、連続性とつながりのある緑道を形成する
- ②中高木や低木、地被植栽は各区間毎の違った特性を表現しつつ季節を感じられる空間演出を行う
- ③南側の住宅等の前には、桜など大木となり、枝張りが大きい高木を配置しない

区間A

- ・和風の植栽を行い「里山」や「農村」、「屋敷林」をイメージできる植栽を行う
- ・桜で鉄道敷地の連続性を確保しつつ、目を引くポイントとなる設えの周辺に、花木や草花を配置する

■樹種の例



シダレザクラ イロハモミジ キンシバイ オタフクナンテン

区間B

- ・利用者が緑道で植栽の情報を得たり、情報を発信しやすくなるような、花木等により迫力があり、写真映える空間づくりを行う
- ・区間内を四季で区分することで、季節に応じたダイナミックな植栽の演出を行う

■樹種の例



サクラ カツラ ミツハツツジ ユキヤナギ

区間C

- ・四季折々の季節感に富んだ植栽を行うことで、毎日散歩をしたくなるような空間づくりを行う
- ・緑道内はすっきりとした広がりある気持ちのいい空間とするため、草花や四季を感じられる落葉低木を配置する

■樹種の例



サルスバリ アジサイ ムクゲ サクラ



区間C （布田東路上自転車等駐車場～狛江通り）

- 基本方針
- ・距離表示を設置するなど、歩行を促進する工夫を行い、市民の健康増進に資する設えとする。
 - ・ストレッチなどの運動機能を付加したベンチなどを、適度に配置する。
 - ・歩幅スタンプなどにより、路面表示を工夫する。
 - ・散策を促し、気軽に健康づくりが行える場を創出する。

■整備イメージ



距離表示のイメージ



健康器具機能付きベンチのイメージ



歩幅スタンプのイメージ

■市民参加について

令和2年12月に、鉄道敷地の緑道全体の整備に関するオープンハウスを開催し、市民の皆様のご意見を伺いました。

また、令和3年2月に、区間Aの沿道住民の皆様を対象に、区間Aの緑道整備についてアンケートを実施しました。

今後、区間Bと区間Cについても、市民参加を実践しながら各区間の整備内容の検討を進めてまいります。



令和2年12月 オープンハウスの様子

以下の事項について、市民参加を実践しながら検討する予定です。

- ①緑道の形状 : 既存地形を活かす等、歩行者が快適かつ楽しめる空間形状を検討
- ②緑道に用いる樹種 : 生垣や樹木等の樹種を維持管理面も踏まえて検討
- ③緑道の設え : 緑道の舗装や、緑道内に設置するベンチなどの設えを検討
- ④市民参加型の管理 : 市民が維持管理に関わることができる花壇の設置などを検討

①緑道の形状 (例)

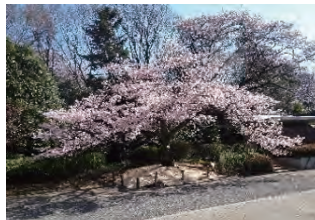


地形を活かした形状

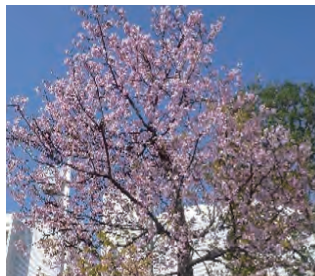


蛇行した形状

②緑道に用いる樹種 (例)



シンダイアケボノ



カワツザクラ

③緑道の設え (例)



舗装イメージ



ベンチのイメージ

■緑道の整備スケジュール(予定)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
区間A	市民参加	設計	工事		
区間B		市民参加	設計	工事	
区間C			市民参加	設計	工事

令和3年3月

登録番号(刊行物番号)
2020-261

お問合せ先

調布市 都市整備部 街づくり事業課
〒182-8511 東京都調布市小島町2-35-1

TEL: 042-481-7417
FAX: 042-481-6800